

平成25年3月28日
総務局

東京都防災会議地震部会(南海トラフの巨大地震に係る検討 第6回)
議事概要について

1 地震部会の概要

日時：平成25年2月20日(水) 10:00~12:00
場所：東京都庁第一本庁舎南塔33階 特別会議室S2
出席者：平田部会長、中林部会長代理、加藤委員、佐竹委員、久田委員、
安田委員
宮寄危機管理監、箕輪企画調整担当部長、臼井計画調整担当課
長ほか

2 議事概要

南海トラフの巨大地震による被害想定に関し、各委員から下記のとおり意見が出された。

<長周期地震動と津波浸水等について>

- 長周期地震動で、都が従来の知見だけでモデルを作ることは、結果的に、現在国が検討を進めているモデルと異なるものになってしまう可能性がある。都民にわかりやすい形で、定性的に表現するのが良いと思う。
- 長周期地震動では、都として定性的であっても、超高層ビルも影響を受けるということを示すべきだろうと思う。
- 島でも震源に向いている方と向いていない方では、津波浸水想定の様子がかなり違うので、今回のように港ごとに細かく範囲を分けて想定を行ったことは非常に良い。

<想定手法等について>

- 被害想定としては、ゆれによる被害と津波による被害とのダブルカウントを確認しておくべきではないかと考える。